

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				
	2	職員の配置数は適切であるか	9				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			3	6	現状バリアフリー化が必要な利用者はいないが、今後必要になる場合は事前対応していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	7		2		業務終了後は必ず掃除を隅々まで行い、気持ちがよく活動でき、空間もしっかりと確保する。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			8	1	職員研修等を通して、広く職員が参画できるような工夫をしていく。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2		6	1	アンケートの結果を踏まえ、再度意識付けし、業務改善につなげていく。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0		3	6	アンケート結果を真摯に受け止め、事業所ホームページに公開していく。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			2	7	
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2		5	2	様々な研修に参加するなど、率先して職員の研修機会を設けるようにする。
適切な 支援の 提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		2		児童発達支援管理責任者を中心に、スタッフも支援計画の作成に関わることができるようにしていく。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	5		4		ガイドライン等を職員研修等に組み込み、スタッフの知識等を向上していく。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		4		児童発達支援管理責任者を中心に、スタッフも支援計画の作成に関わることができるようにしていく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	6		3		個別支援計画を中心に支援を行うことができるように、職員一同十分に把握し、情報共有できるようにしていく。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		6		一人ひとりの児童に対し、ミーティング等を用いてプログラムを立てていく。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		4		スタッフの力量不足もあるため、研修会や情報収集をして固定化しないよう工夫していく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		2		きめ細やかではないが、事前に準備対応はしていた。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
適切な支援の提供 (続き)	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		児童発達支援管理責任者を中心に全スタッフでモニタリングを行っていく。
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか				
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	1	8		ケース会議等には参加しているが、移行支援は現段階では行った実績がない。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	1	8		他の障害福祉サービス事業所等への移行支援は現段階では行った実績がない。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	7	センターが実施等している研修会があれば研修に参加し助言等を受け、専門性を高めていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	7	法人内に学童や保育所があるため、定期的に交流を増やしていきたい。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	7	地域住民との交流も定期的に行いたい。
保護者への説明	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2		管理者や児童発達支援管理責任者を中心に、スタッフも運営規定、利用規約などの細かい内容も研修していきたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	7	2		
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	8	保護者の方から要望があればペアレント・トレーニングも取り入れていきたいが、現段階では実績はない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
責任等	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			
保護者への説明責任等（続き）	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			9	個人情報の関係で〇〇会を開催することは不可能である。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	3		管理者を中心に苦情窓口を設置し、適切かつ迅速に対応していく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			1	8 SNS等を利用し、個人情報に十分に留意したうえで情報提供をしていく検討をする。
	10	個人情報に十分注意しているか	9			
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	5		職員には研修等で周知しているが、保護者の方に対しては玄関等見やすい場所に掲示して対応する。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	6	1	児童の人数により不定期だが、年2回以上実施していく。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4	2	スタッフ全員、周知徹底することで、適切な対応ができるようにしていく。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3		身体拘束が必要な児童が現段階でいないため、やむを得ずそのようなケースがあった場合は、組織的に決定し、十分に説明同意を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	1	保護者から事前にアレルギーの情報は頂いているため、徹底して取り扱っているが、医師の指示書は現段階で取り扱いはない。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	5	1	ヒヤリハットが起きた場合、起きそうな箇所等をミーティング等で報告できるようにしていく